



2020年11月6日

各位

会社名 株式会社スプリックス
 代表者名 代表取締役社長 常石 博之
 (コード番号: 7030 東証市場第一部)
 問合せ先 管理部長 筒井 努
 (TEL. 03-6912-7058)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表した2020年9月期(通期)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年9月期(通期)の連結業績予想数値の修正(2019年10月1日~2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,063	1,099	1,098	791	46 16
今回修正予想(B)	11,843	1,787	1,787	1,150	67 08
増減額(B-A)	780	688	689	359	
増減率(%)	7.1%	62.6%	62.8%	45.4%	

(注) 2019年9月期は、連結決算を行っておりませんので、前年実績は記載しておりません。

2. 修正の理由

前回の業績予想においては、新型コロナウイルス感染拡大により、春以降森塾における入塾生の減少と退塾生の増加が継続し在籍生徒数が漸減するリスクなどを前提に売上減を想定しておりました。ただ、緊急事態宣言が明けた6月以降の入塾生は回復傾向となり、夏期講習受講生及び9月の入塾生は前年並みとなりました。また、退塾生については、6月の退塾率が前年の半分以下になるなど、塾を変えようという動きが減ったことから想定を下回りました。これらの結果、9月末の直営在籍生徒数は32,156人(前年同期比646人増)となり、売上高は前回予想より780百万円増(7.1%増)となりました。

一方、前回の業績予想における売上原価と販売費及び一般管理費については、売上に連動するアルバイト講師給与などの変動費は減少するものの、4月以降に増加した社員に関連する費用などの固定費の抑制は難しい前提としておりましたが、社員がアルバイト講師に代わって授業を受け持つなどにより変動費が想定を大きく下回りました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の投資先への影響を鑑みて、投資有価証券の減損を認識し、特別損失に計上いたします。

以上の結果、営業利益は前回予想より688百万円増(62.6%増)、経常利益は同689百万円増(62.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は同359百万円増(45.4%増)となる見込みです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上